

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	120	学校名	仙台市立北中山小学校	校長名	高橋 正行
------	-----	-----	------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
人と環境に優しい取り組みをしよう



2 取組の紹介

【季節の花植え】

今年度は、1～3年生が、1人が植木鉢を1つずつ管理して、アサガオ(1年)、野菜(2年)、ハウセンカ(3年)を育てているため、4～6年生が校地内の花壇の緑化に取り組みました。昨年の秋～春までの草花の撤去と土づくり、苗の植え付けを分担して行いました。春には、サルビア・マリーゴールド・ベコニアなどの苗を、秋には、パンジー・チューリップ・葉ボタンなどの苗を植えました。



【ひまわりプロジェクト】

学校と地域のつながりを深めることを目的に、東日本大震災を乗り越えた「ど根性ひまわり」を南中山中学校区の三校で育てています。この活動を通して、地域にひまわりの花を咲かせていこうという願いが込められています。

ボランティア委員会が中心となって、花壇のひまわりの世話をしたり、プロジェクトを進めたりしました。「自分だけのひまわり」や「ひまわりのぬり絵」など、学校内にもひまわりの絵を咲かせて明るくしようという取り組みを行い、それぞれ優秀作品の展示をしました。



【古紙回収・ごみの分別】

委員会活動では、環境委員が各学年のたまった古紙回収ボックスをピックアップして集め、種類やサイズごとに分別しています。

職員室では、全てのごみ袋に小さいビニール袋が取り付けられています。プラスチックごみと普通ごみが混ざらないように、プラごみはビニール袋の中へ、普通ごみはごみ箱の中へという風に、全職員が意識してごみの分別をしています。各教室で行っていることを、職員室でも実践し、日々の小さなことから当たり前前活動できるよう、全校で取り組んでいます。



3 取組の成果(児童生徒の変容)

1～3年生は、アサガオや野菜、ハウセンカを自分の植木鉢で育てることによって、愛着が湧き、「私のアサガオ」「僕のハウセンカ」という意識を持つことができました。合わせて、自分の植木鉢が学校の景観をきれいにしていることにも気付きました。折にふれて学校の花壇は上級生の環境委員会のお兄さん・お姉さんがいつも世話をしていることについて知る機会を作り、全校児童が、校内の環境をきれいに整えようという気持ちにつながりました。